

KOBE MODERN CULTURE

音楽



★全日本デイクシーランド ジャズ・フェスティバル

6月6日(日) 11時~4時半
武庫川学院第3学舎甲子園会館
2800円

我が国最大のデイクシー
のフェスティバルが、今年
も甲子園で開かれる。第17
回を迎えた今回は、関西地
区のバンドに加えて「甲子
園をめざして」練習を重ね
てきたバンドが、東京、函



ニューオリンズ・ラスカルズ

館、甲府、竜野から参加。
全15バンドが日頃の成果を
披露するほか、ゲストにオ
ーストラリアのトランペッ
ター、ジェフ・ブルーが出
演する予定。会場となる武
庫川学院第3学舎甲子園会
館は、かつての甲子園ホテ
ルで、昔の良き時代の栄華
をしのばせるものがあり、
緑の木と芝生にかまれた

美しい庭園も舞台のひとつ
として演出され、ハツビー
なデイクシーが流れる園遊
会の雰囲気。

出演/ザ・ビッグ・ディッパーズ、
伊藤隆文とデイクシーランド・アン
バサダーズ、そねハウストリオ、マ
イク・ドラムとコーベ・ストンパ
ーズ、ニューオリンズ・ラスカル
ズ、サウス・サイド・ジャズ・バン
ド、リバーサイド・ランブラーズは
か

司会/行田よしお、末広光夫
★世界の最高峰パレエ
アメリカン・パレエ
シアターII 来日

6月25日(7時) 神戸国際会館
S・8000円 A・6500円
B・5000円 C・4000円

1940年創立のアメリカ
カン・パレエ・シアター。
世界中より最高のゲストス
ターを招いて「パレエの生
きた博物館」といわれる活
動を繰り返してきたパレエ
団だが、若い有能な舞踊家



ワン・イン・ファイブ

が育つなかで、名ダンサー
ミハイル・パリシニコフ
が、従来のゲストスター中
心主義ではなく、実力ある
若いスターを起用するとい

う大改革に踏みきり、19
81年、アメリカン・パレ
エ・シアターII(ABTII)
が発足した。このABTII
は、今日まで海外3ヶ国を
含むアメリカ16都市で公演
をし、そのレパートリーの
広さと深さにおいて、新し
いインスピレーションを啓
発される公演であると評さ
れている。今回の日本公演
では「ライモンダ」「ワン
・イン・ファイブ」「パッセ
ージ」「ブルノンヴィル小
品集」が演じられる。

★WAKAのLPは

宮原透が編曲を担当

3月にロンドンレコード
から発売された「バイバイ
ジェラシー」がヒットして
いるが、歌っているのがか
つてNHKの番組「ステイ
ジ101」に出演していた
ワカとヒロのWAKA、若

子内悦郎。そしてアレنج
が神戸でも活躍していたビ
アニストの宮ちゃん、宮原
透。WAKAは、この「バ
イバイ」のヒットに続
いて現在LPを録音中で、
「ロック、ポップ、R&B
と多少スタイルのちがう音
楽10曲で構成する」変な
アルバムだけど、今まで15

年間の音楽生活のエッセン
スを全部出しきって創る」
と張りきり、また「宮ちゃん
のゴキゲンな音楽性、人
柄、彼は僕の
先生」という
程に惚れ込
まれた宮ちゃん
「バイバイ・
ジェラシー」が、このアル
バムの半分を編曲する。そ
して残りの曲も、やはり神
戸で活躍していたキーボー
ドの難波ひろゆきがアレ
ンジを担当。
WAKAは「このLPの
録音が終わればライブ活動
を再開したい。実は関西の
お客さんの方がノツてくれ
るんです。だから神戸でも
ぜひ機会をもちたい」と話
している。

★各大学、定演の季節

★甲南大学 演劇部

5日(土) 5時半 芦屋ルナホール
400円

★神戸商科大学/尺八部

5日(土) 5時半 神戸文化小ホール
無料

★関西学院大学/吹奏楽部

9日(水) 6時 神戸文化大ホール

★神戸商科大学/マンドリン部

12日(土) 6時 神戸文化大ホール
400円

★甲南大学/交響楽団

13日(日) 6時 神戸文化大ホール
450円

★関西学院大学/軽音楽部



スポーツ

★ジャパンカップ

キリンワールドサッカード

6月4日(金) 7時 神戸市立中央
球技場 S・3000円 A・2000円
(前売15000円) B・1000円(8000円) 中高生前

19日(土) 5時 芦屋ルナホール
前売・5000円 当日・6000円
★神戸大学/交響楽団
26日(土) 7時 神戸文化大ホール
★関西学院大学/交響楽団
29日(火) 神戸文化大ホール



音楽

★西城秀樹

6日(日) ①1時 ②4時半
神戸国際会館 S・3800円
A・3000円 B・2500円

★第17回全日本ディキシーランド
ジャズ・フェスティバル
6日(日) 11時 武庫川学院第3
学舎甲子園会館 2800円

★堤剛/神戸室内合奏団
8日(火) 6時半 神戸文化中ホ
ール 2500円

★藤島恒夫/歌ころ浪漫航路
8日(火) ②2時 ③6時半
神戸文化大ホール 民音/会員・
2500円 一般・2800円

★山下久美子
9日(水) 6時半 神戸国際会館
A・2300円 B・2000円

★鞍井博子ピアノリサイタル
10日(木) 7時 神戸文化中ホ
ール 一般・2000円 学生・1
800円

★林純子トランベトリサイタル
11日(金) 6時半 元町・扇月堂
ホール 15000円

★タモリ
20日(日) 6時半 神戸国際会館

売・5000円 小学生前売・3000
円 親子券・2000円

アジアで行なわれるサッ
カーのイベントでは最大の
スケールといわれる「ジャ
パンカップ・キリンワール
ドサッカード」が5月30日
、6月9日、全国6会場で
開かれる。参加チームは、
ベルダー・ブレイメン(西
ドイツ)、フイエノールト
(オランダ)、シンガポール
代表、日本鋼管、日本代表
の5チームで、全10試合が
行なわれる。神戸での試合

A・3000円 B・2700円
C・2300円
★五輪真弓
23日(水) 6時半 神戸文化大ホ
ール S・3000円 A・2
600円 B・2200円

★フランス金管五重奏団
26日(土) 3時 明石市民会館
S・2500円 A・2000円
B・1500円

★沢田研二
26日(土) ①2時 ②5時 神戸
国際会館 S・3800円 A・
3000円 B・2500円

★アルフィー
29日(火) 6時半 神戸文化中ホ
ール 民音/会員・2000円
一般・2300円

★杉田二郎
30日(水) 6時半 神戸文化中ホ
ール A・2700円 B・23
00円

★坂本長利・土佐源氏一人芝居
4日(金) 6時半 神戸文化小ホ
ール 1500円

★俳優座
「食肉市場のジャンヌ・ダルク」

★俳優座
「食肉市場のジャンヌ・ダルク」

★俳優座
「食肉市場のジャンヌ・ダルク」

は、今年の正月、天皇杯で
優勝を飾った日本鋼管に、
70年にクラブカップ世界
一、74年にUEFAカップ
に輝いた実力と実績をもつ
フイエノールトとの対戦
が予定されている。



美術

★県内日本画壇回顧

6月12日(土) 7月11日
県立近代美術館

兵庫県立近代美術館が、

23日(水) 26日(土) 6時15分
27日(日) 1時半 神戸文化中ホ
ール 神戸労演/会員・2300
円 一般・2400円

★演劇集団円
出演/栗原小巻、小沢栄太郎ほか
「ヴォルボーネまなの名を狐」
29日(火) 6時半 明石市民会館
S・2500円 A・2000円
B・1500円

★室内楽で踊るモダンダンスの世
界・今岡嬢子舞踊団&神戸室
内合奏団
17日(水) 6時半 神戸文化中ホ
ール 3000円

★アメリカン・バレエ
シアターII
25日(金) 7時 神戸国際会館
S・8000円 A・6500円
B・5000円 C・4000円

★県立近代美術館
県内日本画壇回顧6/12/7/11
★西宮大谷記念美術館

★県立近代美術館
県内日本画壇回顧6/12/7/11
★西宮大谷記念美術館

★県立近代美術館
県内日本画壇回顧6/12/7/11
★西宮大谷記念美術館

★県立近代美術館
県内日本画壇回顧6/12/7/11
★西宮大谷記念美術館

★県立近代美術館
県内日本画壇回顧6/12/7/11
★西宮大谷記念美術館

県内の日本画壇を展望でき
る展覧会を企画している。
内容は――

- ・明治前期の絵画共進会に
出品された画家
- ・近代日本画の成立
- ・国画創作協会
- ・村上華岳と神戸兵庫画壇
の成立
- ・中央画壇での活躍
- ・戦争と新たな出発
- と、なっており、県内日
本画壇の歴史的な歩みが一
望できる。出展は松岡映丘
橋本閑雪、村上華岳等。

82年イタリアボローニャ
国際絵本原画展 6/5/7/4
★満蒙美術館
花生と香炉 4/1/7/11
★兵庫県陶芸館
常設展「古丹波を中心とした県下
の焼物 6/1/7/15
★エンバ中国近代美術館
船舶のすべて 6/2/8/23
★大丸美術館
旦紅会展 6/3/6/8
藤原雄大畫展 6/10/6/15
片野かほり絞展 6/17/6/22
歌川豊国とその一派逸品展(浮世
絵) 6/24/6/29
★三越ギャラリー
現代フランス絵展 5人展 6/1/6/6
現代人気作家日本画展 6/8/6/20
ローランサンを中心とした現代女
流作家油絵展 6/22/7/4
★そごう美術館
黒木邦彦油彩展 6/4/6/9
美濃様次郎第3回近藤精宏作展 6/11/6/16
回顧小林和作油絵展 6/18/6/23
★サンバル市民ギャラリー
丸木位里・俊展「中国を描く」
6/16/6/30



舞踊

★室内楽で踊るモダンダンスの世
界・今岡嬢子舞踊団&神戸室
内合奏団
17日(水) 6時半 神戸文化中ホ
ール 3000円

★アメリカン・バレエ
シアターII
25日(金) 7時 神戸国際会館
S・8000円 A・6500円
B・5000円 C・4000円

★県立近代美術館
県内日本画壇回顧6/12/7/11
★西宮大谷記念美術館

★県立近代美術館
県内日本画壇回顧6/12/7/11
★西宮大谷記念美術館

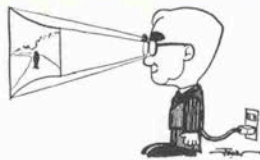
★県立近代美術館
県内日本画壇回顧6/12/7/11
★西宮大谷記念美術館

●ふらっしゅ●ばっく●

ホーム・ドラマの カムバック

淀川 長治

映画評論家



ヘンリー・フォングとキャサリン・ヘップバーンの「黄昏」(一九八二)が東京で大当りしている。八〇歳の老夫婦物語だが実に美しい。その美しさは枯れてゆく人間の、あたかも夕陽の沈むしづしの夕景の美しさ、そのような美しさを思わせて悲しく哀れでありながら、この老夫婦の人情がたまらなく暖かいので見とれてしまう。それにこの舞台劇を映画化したことでこの映画は自然の風景をふんだんに画面に出すゆえに(自然)が主役の重さを示し、人間の春夏秋冬を感じさせるのであった。四〇歳の娘(ジェーン・フォング)この娘が連れてきた結婚相手の男の先妻とのあいだに生まれた男の子十三歳。この映画はこのような芽生えと壮年と老いこちてゆく老年の人間の四季をも見せたのであった。アメリカ映画は再びホーム・ドラマをカム・バックさせてきつつある。

そういえばあの「チャンプ」(一九七九)のころから夫婦とふたりの仲の子供といった人間の内輪の方向に目を注ぎだし、「クレイマー、クレイマー」(一九七九)も夫婦と子供、そしてこの二作は共に夫と妻のあいだにできたひびが夫妻を引き離れたあとの父と子のホーム・ドラマであった。

しかしホーム・ドラマはジミィ・ディーン「エデンの東」「理由なき反抗」さらに「ジャイアンツ」さえもこれまた二代三代にわたるスケールの大きなホーム・ドラマであり「ハリーとトント」の老父と二人の息子と一人の娘。この父と子の物語もそうだし、ホーム・ドラマ

は今さらにカム・バックとは申せぬのだが、「黄昏」のような静かな映画の中にさえハッと目を見ずえる新時代の空気が流れこむことでホーム・ドラマのカム・バックの新しい衣裳が新しいホーム・ドラマを示し、ただのカム・バックでないことで……映画というものの面白さを知るわけである。

「黄昏」の娘は子連れの男を結婚相手にして親のもとにやってきたのである。三十年ほどまえのホーム・ドラマにはどう考えても登場しなかった娘である。そういえばロバート・レッドフォードが監督としての第一作の「普通の人々」も息子のことから夫婦間にひびが這入り母親は夫と息子を捨てた。これは普通の人々ではない。この映画の題名はそれを皮肉っているのだが、もはや今では実はこれが普通の人々になりつつあることで、これから再び登場するホーム・ドラマは、やはり、注目のカム・バック……ということになる。

「奇蹟の人」「俺たちに明日はない」のアーサー・ペン監督が「ミズリー・ブレイク」(一九七六)のあとしばらく沈黙していたのだが五年ぶりで「フォォー・フレンズ」(一九八二)という青春映画を発表した。これは映画のために書かれた脚本で、ユーゴからシカゴに移民してきた夫婦の息子の十二歳がやがて青年になったところ(一九六〇年代)を描いているのだが、この息子と二人の友人、つまり男三人が一人の娘を愛し、その娘が、ほんぼうな自由主義の有名な舞踏家イサドラ・ダンカンを自分の生き方のポイントにし、三人の男との関係



「黄昏」



●フォー・フレンズ



がややこしい人生ドラマを盛り上げてゆく。この娘はその三人の一人と肉體關係を結びやがて妊娠したときにそ

の相手の男がベトナム戦争に出征することになり妊娠している娘はそれを知っている別の男と結婚してしまう。別の男は彼女を救ったのである。けれどもこの娘が本当に愛していたのはユーゴから移民してきたその両親の息子だった……というようにホーム・ドラマも青春映画もただのカム・バックではなくなったのである。この若者たちの生き方、そしてその若者の一人である自分の息子の生き方を見つめているうちに、この息子の父親はアメリカに幻滅し、このユーゴから移民してきた今はすっかり年をとった老夫婦は、息子をアメリカにひとり残して故郷のユーゴに帰ってゆく。

こう見てくると「黄昏」の美しさは、アメリカが一番ほしいと夢に描いている美しさであって、現実のホーム・ドラマはもっと複雑になり、もっときびしくなり、もっと人間臭くなってきた、やさしいホーム・ドラマのかつての時代の再来ではなくなってきた。けれどもアメリカはもう一度(ホーム)(家庭)を恋しがっていることはたしかである。ところがつい最近のアーサー・ヒラ監督の「メイキング・ラヴ」(一九八二)の物語は夫妻のあいだにひびが入った、夫が愛人ができたことを打ちあげたのだ。妻は我慢して夫婦のよりを戻そうと思った。ところが夫の愛人というのがなんと男性だった。これでは我慢できるわけではない。二人は離婚。数年がたった。別れた夫婦があるとき再会した。妻には新しい夫ができ子供も生れていた。そのとき別れた夫がその妻の幸福を祝したと同時に僕も愛する相手と暮していると云ってその相手に向うの方に立ってこちらを見ているその相手を別れた妻に教えたのだが、それが男性だったのであった。アメリカのホーム・ドラマはやがて再びいろいろと訪れてくるであろうが、そのドラマは「黄昏」のように美しくやさしいものばかりではなさそうである。そして「メイキング・ラヴ」の監督が実はあの「ある愛の詩」の監督なのである。

風吹

〈6〉“脳 革”

「寄らば大樹の蔭」というけれど、大樹の蔭に寄ったばかりに大樹がブツ倒れそうになってヒヤヒヤしなければならなくなっている人が多いという。

いま、ちょうど、四月に入った新入社員が、希望に胸躍らせて実務についた季節である。一流大学を出て一流企業に入社した人もあれば、希望通りいかなかった人もあるわけだけれど、一流企業が必ずしも人生ではないと思うのである。私なんぞは若いときから一流企業に入る境遇ではなかったから、ヒガミ根性も手伝って、

「大樹に寄るより小さくても梅^{うめ}の二葉の香りがする会社を選ぶ若者が好きだ」

なんて気取っているのである。梅^{うめ}でなくてもいいが二葉は風が吹いても倒れないからだ。私が子供の頃、お宮の樹齢何百年という松の太木が台風の夜、地響をたてて倒れたことがある。家がお宮の森に接していたので、松の木は我家の軒先すれすれに倒れていたのである。翌朝、その松の木を見て驚いた。四抱えもあろうかと思う松の幹は、なんと、空洞になっていて、殆んど腐っている

たのだった。

まさか、父親が、風除けの為に大木の蔭を選んで住みついたのでないが、

「大風が吹いても大樹の蔭の方が安全だ」
なんて思っていたとしたら哀れである。

さいわい、我家は運よく、小さかったので腐った大木の直撃をうけなかったのがあった。が、まさか、父親も中が腐っていたとは思わなかったらしい。

この頃、まさか、と思うような企業がバタバタ倒れている。みんながみんな中が腐っていたとは思わないが、予期しない「大風」に耐えられなくなったのだろう。

そこへいくと「親方日の丸」の国鉄さんなどは相当な赤字と「風当り」に耐えているから大したものだ。これもみんながみんな腐っているとは思われないが、樹齢を重ねた老木のような気がしてならない。国鉄は何といっても日本国の「血管」だから動脈硬化を防いで健康体に近づけなければならない。それにしても、国鉄職員の「サービスの悪さは定評がある。が、国鉄職員に今、急に「サービスをしろ」といっても無理な話である。もともとこの育ちが育ちだからである。明治以来、官営で、発足当時



動脈硬化

「国鉄さんをなんとか助けてあげて下さい」



からサービス教育などはなかったと思うからである。民営のように「毎度ご乗車ありがとうございます」から始まっている。サービスの何たるやを考察する素質をもとからあたえていないからだろう。官制という浮袋をあたえられて水練をしているようなもので、裸のままで川に投げ込まれて泳いで来た民営と格段の差が出来るのも仕方のないところで、職員を責めることは出来ない。育てた親が子を責めるようなもので「あの時こうして置けばよかった」と言っても遅いからである。事故なく定刻に発着させればよいということであれば、機械と同じでサービスは出来ない。

また、官営といっても採算を無視しては、そのツケは国民に回り、それが回って職員自身（職員も国民の一人）に降りかかってくる結果となるからだ。時代は違

うが、私達の少年時代（昭和初期）などは、国鉄に就職した友人を見たりすると羨ましくて仕方がなかった事を覚えている。あの当時も国鉄の採用条件は機会均等、きわめて民主的で、学歴はなくても採用試験にパスすればよかったのだが、私は残念ながら、受ける自信さえなかったのであるから何をか言わんやであるが。その友人は今、国鉄を勇退し、徳島で細々ながらも悠々自適の生活をしている。彼は良き時代を生きた真面目な国鉄職員だったことを懐かしさと共に喜んでいる。

そこへいくと、今を生きる人達は不運、というべきか、行革の嵐の中に立たされ大木の下ににいるようなもので、不安この上ないだろう。かくいう私も、行革の嵐の中にいる息子家族を持っている一人、他人事ではないのである。矢面てに立っている国鉄ではないが、悩みは同じ、「国鉄職員にしろ一般公務員にしろみんな生きていかねばならないのだからお互いに考えねばならんやないか」と、どうしても鉾先が鈍くなり「職員が多過ぎる、首を斬ってしまえ」などと、短絡的には考えられないのである。一方的に五年連続値上げの国鉄運賃に対しても「カレンダーをめくるようなものだ」と諦め顔という乗客も「もっとサービスしてもらいたい」と付け加えるのだが、抽象的で具体性がない。一般公務員にしろ「お前らは税金で養っているんだ頭を下げる」と言われても公務員も納税者の一人だから釈然としない。ただ、公職にある者は税金が直接月給として確実に還元されるが、一般納税者は間接的で有難味が少ない（公的機関に直接商売をしている納税者は別だが）からだろう。公務員も只で金はもらっていない、納税者のために働いてもらっているのだから「毎度おおきに」と頭を下げる必要はない。ただ、サービス精神の根底に、いくばくかでも直接還元される生活費に対しての感謝の念が欲しいところである。納税者も自分達のために働いてくれている公職者にいくばくかの感謝の気持が欲しいというものだ。お互いに脳の改革が必要だ。

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより



★ファミリア東北へ進出

4月15日に東北新幹線仙台駅に隣接してams西武仙台店がオープンし、神戸からはファミリアが25番目の直営店として出店した。

当日坂野通夫社長・倅子代表専務夫妻や岡崎晴彦専務もオープンにかけつけ、東京から堤西武社長も出席して祝賀会が開かれた。



西武百貨店堤清二社長（右から2人め）を囲んで

ファミリア仙台店（毛利店長）は38・7坪のスペースでお馴染みのスヌービー関係の商品や0才〜9才の幼児用フッシュオンがいっぱい。東北地方へは初めて出店だが、今秋には名古屋

にも出店が決まっております。まずまず神戸のファミリアが全国へ広がっている。

■ams西武ファミリア仙台店／仙
台市中央区1-10-10 電話0222-
6210345

★サマーウエディング情報

「この夏にウエディングを」と考えているカップルに、披露宴の費用割引や特典のある耳よりなお知らせを。

●オリエンタルホテル

期間／7月1日〜8月31日
費用／50名様50万円

内容／料理、飲物、卓上花、メニュー、ウエディングケーキ、会場費、挙式料、お茶会、両家控室、招待状、ピアノ演奏、花束、ブーケ、席札準備、芳名録、色紙、税金、サリ、化粧品含む、追加は1人に付き1万円、挙式当日の二人の宿泊（朝食付）（朝食付）



今年の夏、幸せに

特典／披露宴料理、和・洋・中華各料理1割引、衣裳・美容着付2割引

引、写真・ビデオ撮影1割5分引、挙式料・ウエディングケーキ5割引、お問合せ・お申込みは
電話331-8111宴会課まで

●ニューポートホテル

期間／6月1日〜9月23日
費用／30名様36万9千円

内容／料理、飲物、ウエディングケーキ、卓上装花、案内状、贈呈用花束、追加1人に付き9千5百円、挙式日宿泊、回転レストランディナー、朝食付、税金・サリビ料込、特典／婚礼衣装、婚礼写真、着付料3割引、ハネムーンナイトプレゼント（挙式当日の宿泊、夕朝食を二人にプレゼント）
お問合せ・お申込みは 電話331-4171まで

★アダルトな「セテポン」

風月堂より新発売

「セテポン」(フランス語で「ごちそうさまの意味」といいうお洒落なお菓子が神戸風月堂より発表され好評を呼んでいる。

チーズケーキ、チョコレートムース、ヨーグルトケーキの3種類があり、チー



写真はヨーグルトケーキ

ーズケーキにはブルーベリーソース、チョコレートムースにはオレンジソース、ヨーグルトケーキにはストロベリーソースが付いて1個

●ショップトビックス

★つやや衣裳店では7月4日(日)神戸ポートビヤホテル備案の間に於て「秋の結婚衣裳大展示会」を開催いたします。

★中川衣裳店では6月6日(日)神戸ビラ、6月20日(日)ニューポートホテル、7月4日(日)神戸オリエンタルホテル、7月25日(日)神戸ビラにてご結婚衣裳展示会を開きます。

★6月24日(木)、25日(金)大阪ロイヤルホテル「桂の間」でミキモト「新作ジュエリー、真珠」の展示会が開かれます。

★神戸国際会館1Fにあるベニイ毛皮店では6月25日〜30日「毛皮新作コレクション」を開催します。お気軽にお立ち寄りください。

★オリエンタルホテルB1「セラバーラ・ランド」ではビヤフェスティバルを開催中(9月30日まで)ホテル名物ローストビーフ、ステーキを堪能してください。

伊勢海老のグリルいずれか1品と生ビール中ジョッキ一杯で1人様950円(前売サリビ料込)ビヤフェスティバルタイムはPM5〜PM9・30

★神戸ビフを中心に新鮮な材料をそのままいかした野外料理の醍醐味と爽快感が楽しめるジンギスカン料理を六甲オリエンタルホテルでお楽しみください。4、500円〜10、000円まで4コース。ご予約は六甲オリエンタルホテル電話891-010333

★田崎真珠のサマーセールが6月22〜24日神戸国際会館で開かれます。淡水真珠に他の宝石をミックスしたカクテルネックレスを主流に夏の新作を多数展示します。さんプラザ店は6月26日より、神戸ポートビヤホテル店は7月11日より開催します。

★7月中旬、ニューポートホテル3F「舞子の間」で「かみなりオヤジの会」が開かれる予定。午後2時から4時まで宮原文太、加藤芳郎、ガッツ石松さんの講演、4時から立食パーティが開かれます。会費は6、500円。

・第3回「もとまちアイドルレディー」決定・



北波美樹子さん

清野 沙織さん

高橋 尚子さん

元町グループの公式行事にコンパニオンとして花を添える「もとまちアイドルレディー」3名が5月8日風月堂5Fホールで開かれた最終審査で決定した。神戸まつり協賛催として始められたもとまちアイドルレディーも今年で3回目を迎え、25才までの知的で健康な未婚女性を対象に募集、19名の応募者があり書類審査、面接を経て10名が最終審査に進んだ。商店街や百貨店の代表10名の審査員で面接、歩き方などを中心に慎重な選考が行なわれた結果、北波美樹子さん（東灘区在住）、高橋尚子さん（宝塚市在住）、清野沙織さん（宝塚市在住）の3人が決まりハワイ旅行招待他、豪華賞品が贈呈された。

新製品コーナー



さわやかな味わい的高级ゼリー

●みずみずしいくだもののゼリーが新発売

コスモポリタン製菓より夏向けの新しいゼリーが新発売されました。天然果実、天然果汁100%の甘さをおさえた、さわやかな深い味わい的高级ゼリー。レモン、アップル、チェリー、ストロベリー、ラズベリー、ライムの6種類。パッケージは素朴な自然さを大切に考えられた木箱が用いられています。夏の暑い日に冷蔵庫で冷たくひやして、冷たいお飲物と召し上っていただくと最高です。木箱入り（25個）1,500円、バラ売り各種類100g400円。

が3000円。3個人1、000円、6個人2、000円、9個人3、000円。アフターディナーのひとつきお気に入りのティーカープで、少しアダルトに装って召しあがってみては。サマーギフトにも最適。★バリの雰囲気がいっぱい

シャノン・コンサート4月24日、元町の神戸風月堂ホールで「深緑夏代シヤンソン教室」の初コンサートが開かれた。この日歌ったのは19人の生徒さんたちで、そのほとんどがロマンス・グレーの主婦の方々。自分の好きな歌を選んで、たつぷり一カ月は練習した



華やかなコンサートにうっとり

というだけに、みなさん、ドレスアップした衣裳で、身ぶりも優雅に堂々の歌いっぷり。娘さん（54）と親子出演のおばあちゃん（77）とか、黒一点の男性歌手とか、出演者の話題にも事欠かず。ある生徒さんは「歌ってみて、歌のむずかしさがわかった。でもこんな雰囲気の良いホールで歌えてしあわせです」と、華やかなコンサートを心ゆくまで楽しんでいった。



喜びの永田さん

★永田良介商店の永田良一郎社長が5月19日、榮譽ある藍綬褒章を叙勲されました。おめでとうござい

ポケット ジャーナル



★兵庫県が外国人のための

よろず相談所をオープン
日本語がうまく話せず、
風俗習慣も違うため日常生活に不便を感じている外国人の人たちも多いが、5月1日から須磨区にある兵庫インターナショナルセンターのなかに「ひょうご海外文化交流センター」が開設された。



兵庫県には留学生も多い
でもこれま
ブラジ
兵庫県

出身移住者子弟内地留学制度などがあるが、今回のセンターでは、電話による生活全般の相談と情報提供の他、日本語講座、日本文化入門講座も予定されている。
また、これとは別に留学生を対象にしたいろいろな企画も進行中。国際化時代

に嬉しい話題だ。

□ひょうご海外文化交流センター
TEL(078)731-6611

★田辺福麻呂の万葉歌碑が 敏馬神社に建立

4月29日、敏馬神社本殿東側に田辺福麻呂の万葉歌碑が建立された。



建立された歌碑と花木直彦宮司

碑が建立されたことを祝って除幕式、記念講演(荒尾親成さん「知っておきたい神戸の歴史」)が行なわれた。歌碑は「八千様の神の御世より百船の泊つる泊」とで始まる名高い歌で、字は江戸時代中期の公家、日野資枝によるもの。同社には既に柿本人麻呂の羈旅歌(玉藻刈る敏馬を過ぎて……)の歌碑があるが、今回は渡辺洋服店の渡辺利雄さ

んの寄贈によるもので、小豆島から石を運び、彫刻の増田正和さんなどの協力を得て作られたものである。

★「平家幻想」に挑む 久田徹二・松本尚詩

第39回神戸文化ホールグリーンステージに、能楽の久田徹二、地唄舞の松本尚詩夫妻が、「平家幻想」をテーマに、七月十一日(日)午後四時(第二部ジョイントリサیتال)から神戸文



松永 久田
齊川 松本

化ホール(中)で開く。構成・演出/美弥昭彦。平家幻想の修羅と艶の主題と演奏は「沙羅双樹」を舞の松本尚詩と、バレエの加藤きよ子、琵琶の柴田旭堂、尺八の酒井松道、声明の斎川親弘、小泉即澄、朗読西恒登子らで。長唄「八島官女」を松永和佐次朗らで、地唄の「千鳥」を尚詩らの舞で、能の「敦盛」を久田徹二が最後に演じる。前回の源氏物語の好評に続いて、平家物語への取り組みに期待がよせられている。(チケット三千円、お問合せ091-513)★神戸風景の新しい魅力
一水会常任委員の小松崎

誕生日 ありがとう 運動



幼・保育園での
お誕生会でこの協力を!!

みなさんのお子さんやお孫さんなどのいらっしゃる幼稚園や保育園では、毎月「お誕生会」が開かれています。この運動にご協力いただけないでしょうか。

わが子が、今年も無事に誕生日を迎え、すくすく成長していることを喜び感謝すると共に、目を社会に広げていただきたいのです。そして、ちえおくれの問題を、他人事としない、わが事として主体的に考えてください。

幼・保育園のお誕生会の時のこの運動へのご協力は、運動発足当初の昭和四十年から始まり、今では、この協力園が、地元の神戸市のほか、京都府、滋賀県、大阪府、和歌山県、鳥根県、新潟県などの百十園にも広がっています。

協力度でやっていただいている具体的なことは
①その月にお誕生会を迎えられるお子さんに、本運動のピラを配り運動の趣旨と自発的な献金(一口百円)を呼びかけていただく。
②献金協力者には、本運動からかわいしい幼児向けの参加カードを送りお礼とします。

③本運動の啓発紙(季刊)を発行毎に全国園数送紙、各家庭に配付してもらいます。
④幼児期から、他人のことをあたたかく思いやる心を育てる福祉教育の一環として、多くの幼・保育園でのご協力をお願いいたします。
誕生日ありがとうございます運動本部

651 神戸市中央区御幸通八ー一六
神戸国際会館一階の郵便局の隣
電話 二五一ー八六一内線三一六

邦雄画伯が、5年ほどまえから描き続けてきた神戸風景をまとめて、4月24日オリエンタルホテル2階で「神戸百景」展を開いた。会



小松崎さんと神戸風景

場は異人館や六甲山、港など各ブロックにわけられ、魅力あふれる神戸風景を展示。「神戸は風景が絵になる」という小松崎さんは、今回の作品を全て現場で描くという力の入れようだ。なお「神戸百景」オリジナルグラフィック五葉（限定250部）を書店で発売中。

★ビバノ神戸まつり



新しい観光たばこ発売
神戸まつりの時期に合

ン20本入りで絵柄が表がビナスブリッジからの神戸の夜景にあじさいをあしら

い裏面は我が月刊神戸っ子サンパチーのバレーボール風景。5月1日発売だが25万個の限定で売り切れ間近、★名画ファンに好評！

三越文化劇場

「地域社会の文化生活への提案とコミュニティの促進を図るための文化サロン」をめざし4月17日に三越文化劇場が神戸三越6階に。ゆったりとした70の座席とリッチなムードが特長、他では見られぬ傑作映画を厳選



三越文化劇場

して上映するとともに多目的ホールとして各種発表会、ファッションショーなどにも使用される。

オープン第一弾はピリールワイラー監督の「悲愁」、続いて「ブリキの太鼓」「家族の肖像」「ベリッシュ」など映画ファン待望の名作が上映される。月曜定休。

★特異な舞踏集団が

太陽演舞場に

関西の大学を中心に幅広い活動と特異な舞踊で注目

を集めている舞踏集団「白虎社」が4月22・23日、ライプBOXチキン・ジョージで公演を行なった。今回の出し物は新作の「サイレ



特異な「白虎社」の舞踊

ント独楽」。鍛え抜かれた肉体と深玄な表情に満員の観客も固唾をのんで舞台を見まもっていた。

舞台から神話的な力が失われて久しい今日、東南アジア舞踏キヤラン隊出航も決まり、まさに油がのりきっている感のある彼らだが6月30日、午後7時より太陽演舞場（営078-221-5295）にて「ゾーンネンシユタインの夏」からっぽの世界」を筑前びわ、娘義太夫とのジョイントで公演を行なう。

★ジュエリーをつくる

楽しみを味って下さい
10年間、スイス、ドイツ、アメリカでジュエリーデザイナーを勉強のち、3年前に帰国、京都で制作をつづけていた女性が、このほど念願のジュエリー教室を芦

図書ガイド



鳥になれ鳥よ

安水登和詩論集



これは氏の昭和33年から55年にかけて各誌に書かれた散文を一冊にまとめたもので、一部は蒼江真澄にかかわるものや旅行記、二部は詩人論や書評、三部は詩論、ドラマ論、自作解説となっている。「詩を書くとは、気がかりをはっきりと気がかりとすることなのだ」と思ひきだめるとき、私もまた歩いていく一人の男になるのです」という「鳥の詩人」、これは気がかりな初詩論集である。
(2500円・花曜社)

虹滅記（ころめつき）

足立 巻一

虹滅記

足立巻一

この書には、著者の祖父・敬亭、父・藍川（第一）のことが書かれている。漢詩人であった祖父。虹が滅ぶように急逝した。新聞記者の父、その二人の足跡を訪ねて著者は長崎へと向かう。もともと「天秤」に連載されたが、同誌の休刊後は「六甲」に引き続いて連載されたものだ。著者によると「やちまた」と「夕暮れに母を植えて」と三部作にする積りで執筆されたそう。労作である。
(朝日新聞社刊・1400円)



アイボリーと14金のピン
左上 松本光世さん

屋に開いた。松本光世さんがその人だが、松本さんの方法は、相手に合わせてカリキュラムを組むという行き届いたものだから初心者も心強い。

毎週月・水曜日に入会を受けつけている。

ジュエリーデザインスクール/ジェム・アート・デザイン/芦屋市栗平8-14 芦屋川アイバーンライフB1
電話0797-313117
全日コース/毎週月・水曜日 午前

花時計



国際都市神戸の復権
神戸がファッショ都市をめざして今年で10年を迎えることになる。

そして、ポートピア81が成功裡に終わり、その博覧会跡地はいま、ファッション街区づくりの植音が高い。このファッショ街区づくりによりファッショ都市のひとつ

10時〜午後5時、半日コース 毎週金曜日 午後1時〜4時、6時〜9時。入会金各5万円、授業料/全日コース2万円、半日コース1万円。

★神戸でボウリングのビッグ・イベント

灘区のグラランド六甲ボウリングセンターにおいて、

4月18日に第6回神戸プロアマボウリングフェスティ



小泉社長と入賞者たち

バル、18、19の両日に第2回六甲クイーンズオーブン

ーナメントが行われた。特にクイーンズオーブンナメントは、須田開代子、中山律子、並木恵美子等、

の核がでさることになる。ファッショ都市神戸の旗を掲げ、指向することによって大きな成果をあげたことになる。

また、もう一つの選択として、コンベンション都市市会議・見本市都市市神戸がある。

日本の都市のなかで、国際会議場、国際展示場をもちホテルも隣接した施設をもっているのは神戸だけである。

そのうえ、85のユニバシアードにはワールド体育館(一〇、〇〇〇人収

そうそうたる顔ぶれ。19日の決勝では朝の9時半より夜8時まで20ゲームを投げ抜き、結局プロ入り9年目の初タイトルという永井雅代プロが栄冠をかちえた。

★のじぎく文庫、原稿公募

発刊以来、郷土の新人を世に送りだしてきた「のじぎく文庫」が25周年を記念して、原稿を公募する。テーマは兵庫県下に材をとったノンフィクションで、4000字詰原稿用紙3000枚。応募資格は県下に在住または勤務で、これまでに著作物のないこと。問合せは神戸新聞出版センター「のじぎく文庫」へ。

容予定)のアリーナも建設されようとしている。

この、アリーナが完成するとコンベンション施設として威力を発揮することになる。これらのコンベンション施設は経済

的な施設であるが、また文化施設ともいえる。ファッショ都市もコンベンション都市づくりも基本理念は国際文化都市づくりであり相互に運動して効果は倍増する。明日

の神戸を創造する両輪が躍動する時、神戸の輝かしい未来がある/V

KOBE POST

★昨年来からの神戸市民文化委員会の意見を反映し、神戸市民文化振興財団(富崎隆雄理事長)が設立され、神戸文化ホール(北嶋敏男館長)・葦文化センター(岡部健館長)・北民センター(春井寛美館長)・須磨区民センター(松田吉博館長)・プラネタリウム(前山豊己館長)・東灘文化センター(橋本芳行館長)が、事業所としてまとめられました。仮事務所・神戸市役所内電話331-8181

★十一月開館の神戸市立博物館長に井尻昌一さんが、事務局長に渡辺昭三、管理課長に小川景三、学芸課長に安田博司、主幹に菅正さんが就任されました。〒650中央区京町24番391-10035

★神戸服装専門学校(学校法人横田学園・横田正博理事長)の新学校長に米田玲子さんが就任されました。前校長の横田恵恵さんは相談役補佐役を務められました。

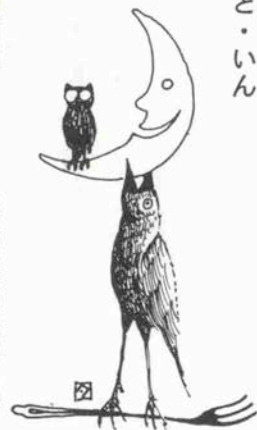
★神戸区永手町二丁目三ノ一七番52神戸外国語大学事務局長の南茂氏が退職され、後任に渡辺祥夫さんが就任されました。

★太陽神戸銀行の玉奥章さんは、社団福祉法人「博由社」千674明石市大久保町大塚高岡二五七三一六番078(936)7335へ出向されました。自宅〒675古古市加古川町溝の口二四二八ノ一番0794(22)7219

★新ジョイントビルが〒532大阪市淀川区西中島6-13-32第2新大阪ビル308号電話(06)2244へ、ネットワークサービスが〒532大阪市淀川区西中島6-13-32第2新大阪ビル311号電話(06)30247へ移転しました。

★ジャパンエンバ株式会社(植野藤次郎代表取締役会長/植野啓一代表取締役社長)の本社が移転。新住所〒530大阪市北区梅田一丁目十一番四一六〇〇号大阪駅前第四ビル十六階電話(06)30357

びっと・いん



★明るい雰囲気のレストラン
コリーナードロが3周年
北野坂ヒルサイドテラス
1Fのラウンジ、コリーナ
ードロが開店3周年を迎え
た。



明るい雰囲気の店内

タリ語で、彫刻家の新谷
瑠紀さんが名付け親。
ジャズを中心にしたレコ
ードのコレクションが約300
枚。カッパルも多い明るい
雰囲気の中で、真珠関係や
放送関係など、多彩な顔ぶ
れが飲んだり食べたり、に
ぎわっている。昼間はラン
チや喫茶として営業してお
り、自家製のレアチーズケ
ーキ、アップルパイも好評

神戸市中央区中山手通1ヒルサイド
テラス1F 電話222・5470
AM11~PM11 日祝休
★ボトルシャンブル
開店1周年

朝日放送「お早よう朝日
です」などのデイクターと
して活躍していた平岡和子
さんが「脱サラ」で始めた
店「ボトルシャンブル」が、
5月29日、開店1周年を迎
えた。



シックなあなたの部屋

器の演奏など、生の演奏が
流れる同店は、素敵な応接
間といった雰囲気をもつ、
まさにあなたの部屋。マス
コミ界やタレント、文化人
たち、多彩な顔ぶれが、ホ
ームバーのある我が家の居
間のごとく、和やかなムー

ドで飲っている。

★ボトルシャンブル／神戸市中央区
北長狭通2丁目5-17 サンセット
ビル5F 電話331・5184

★デューク・ウエリントン
で、幻の名酒を！

タブロウスというスコッ
チを御存知だろうか。日本
では手に入りにくい貴重な
樽入りモルトタイプ・ウイ
スキーだ。一度飲ると病み
つきになることうけあいだ
が、嬉しいことにデュー
ク・ウエリントンではいつ
でもこれが飲めるのだ。噂
を聞いてやってくる東京や



樽入りウイスキーをどうぞ

九州からのお客も数多い。
そのうえバブでありなが
ら、貝柱のテリーヌ(80
0円)、鴨のポルト酒風味
(900円)等、手頃な値
段で本格的な料理も楽しめ
る。あなたも幻の名酒を片
手にゴーギヤスな一刻を過
ぎしてみたら如何かな。

ティタイム11AM~6PM レス
トラン・パブタイム6PM~11:30
PM 日曜休
パブレストランデューク・ウエリ
ント／中央区北長狭通2-16-6
(トアロード) 電話332-1125

●神戸うまいもん
とドリンキング

ビーフステーキルーム
則竹

中央区北長狭通2丁目14-1
電話331-9580

トアロードの高架下か
ら一筋北を東へ入ったビ
ルの一階に則竹がある。
10席だけのこじんまりし
た店内だが、藍染めのテ
ーブルクロス、壁には鉄
畜の書が掛けられ濃厚な
雰囲気が良い。メニュー



則竹の豪華なランチ

はステーキだけで9によ
って値段が異なるが、女性
なら4000円のコース
で満腹になるようだ。上
質のステーキが竹皮を敷
いた鳳凰柄の古伊万里皿
で運ばれてくるという贅
沢さは、この道一筋の則
竹昭宏氏の心意気。

※11AMから1000円と20
00円のランチが登場しまし
た。

海の樞

菊池 佐紀

え・貝原 六一



男に抱かれた夢を見ていた。夢にしては確かな手応えがあった。交憐った感触がはつきりと体の芯に残ってくすぶっている。手足の先までうつすらと汗を掻いていたが、そのうち冷えてきた汗の粒は仄照った肌に心地よく

馴染んだ。夢だと悟ると、気恥しくなって、頬が赤らんだ。

昼間、M市まで出かけて行き、帰って来た時はぐったりと疲れていた。千賀子が紹介してくれた人物を頼りに

思いきって訪れた福祉事務所で何とか相談に乗って貰い、案内やすやすと冬太郎の身の振り方が決まりそうになってみると、ひょうし抜けがしたのか急に疲れが出た。幸先の良さそうな賽の目は出たのだったが、手放しで喜んでしまえない割り切れない感情が佐知子の心の奥に澱のように溜っている。夜分に入って、ふくに電話すると、安堵するかと思つたふくが意外だと言わんばかりの不服そうな声を出した。

「養老院だなんて、あんまりですよ」

「ちがうわ、養護老人ホームなのよ。病氣のお年寄りばかり集めて面倒見てくれるところなのよ。ベッドがちやうど一つだけ空いてたのよ。運が良かったんだわ」

ふくにそう説明して、二、三秒ためらってから、付け加えた。

「少し遠方なの、県内にはちがいないけど、山の中だから、ちよつと不便だけど」

ホームの在り場所を正確に伝えると、

「そんな、奥さま」

皆まで聞かず、ふくの声が尖つてきた。そんな、と続けて言つて、そのまま、佐知子が何を言つてもふくは黙りこくつてゐる。もしもしと佐知子は声を強めて、ふくを呼んだ。

「そんな山の中へ冬太郎さまを行かせるんですか、奥さま」

ふくの声が涙声に途切れた。仕方がないのよ、私にはこれ以上どうしようもないのよ。と佐知子はふくをなだめにかかった。折角、引き取つてやろうと言つてくれるのに、今、辞退してしまつたら、いつベッドが空くか判らないんだから、完全看護で設備もいいそうだから、決してふくが想像するようないじめなどではないのだと佐知子は口調に力を籠めた。ふくが返事をしないまま、あさつて、福祉事務所の人と二人で冬太郎の様子を見に行くから待つていて頂戴、午前中には行けると思うわ。いいわね。と言つて受話器を置いたが、自分の声が

ひどく猫なで声に思えて、佐知子はいや気がさした。喜んでいいのかどうなのか自分でも判らなかつた。社会福祉の手にゆだねるのだから費用もむろん要らないし、佐知子の負担は免れる。冬太郎のこれからの運命は国に任せて置けばそれで済む。今までさんざん持て余してきたものを、体よく厄介払いしたことになる。肩の荷が軽くなるのを喜んでいいはずなのに、気が重かつた。要の出張している留守の夜をなかなか眠れないでいる。

あなたの義理のお父様で？と相談に乗ってくる所員はちよつと腑に落ちない顔をして見せた。いいえ、あの、別に深いかわりなんてないんです。ええ。どきまぎしなからそれでもはつきりと佐知子は、自分が老人の面倒を見なければならぬ義理合いなど無いことを口にしてゐた。嘘をおつき、ともう一人の自分が責め立ててくる。顔が仄照つてゐた。手続きを頼んで外へ出るとホツとしたが靴に踵を付けて曳きずつてゐる感じがする。ひと区切り付いたはずなのに、気がちつとも弾んでこないのだ。十一時が打つても寝つけそうにもなかつた。養老院だなんてあんまりですよ。ふくの非難をこめた語調が聞こえてくる。暇を呉れと言つたくせにふくも少々身勝手な氣もするが、怒る氣にもなれない。

ふくはもう冬太郎に喋つてゐるだらうし、高声のあの電話では冬太郎に聞こえないわけはない。あの分だと興奮したふくが前後の見境もなく、冬太郎に老人ホームの所在地まで克明に教えて、病人の氣持を波立たせ煽り立ててしまふ危惧があつた。ふくに場所まで教えてしまつたのは早計だったとしきりに氣になり始めた。冬太郎をホームへ放りこんで早く楽をしようとしてゐる自分がいやらしい女に思えてならない。どうにも後ろめたいのだ。

寝つけないままに、階下へ下りて行つて、要が独り寝を続けているベッドの枕元の小棚からブランデーを出してグラスにつぐと、唇へ持つてゐた。冬太郎と争つてヤケ酒を呑んだことが胃の中へ落ちた琥珀色の熱い液体

と一緒に甦ってきた。呑みつけない酒の酔いが四肢に廻ってき始めると、バンヤの柔い枕に頭を押し付けたまま、このまま明日まで冬太郎のことは何も考えまい、と思つた。ふみ代の手紙のことも考えないで置こうと思つた。切手を探すために何気なく要の机の押出しを開けると、無難作に投りこんだ、と思える手紙の束があった。ふみ代にしては思つたよりうまい文字で宛名は大学あてになっている。慌てて抽き出しを締めたが、やはり落着かなかつた。気が咎めながら、五通あるのを全部読んでしまった。世話になつた挨拶に混つて、冬は寒いといやですなえとか、今どこそこで働いていますがその病人の看病たいへんなんです、とか他愛のないことが書き連ねてある。ふみ代が机の中からいきなり出て来て、唇の端を歪めてものを言っている、そんなほろ苦い気がしてくる。ふみ代の文面から押して、要が返事を出した形跡は見当らない。

あさつては福祉事務所の職員が冬太郎の様子を実際に見て呉れた上で、入所の希望を叶えてくれるだろう。千賀子が頼み込んでくれた民生委員の口添えもあつて、内諾は得たも同然なのだから、安心していて間違ひはなさそうだった。

酒の勢を借りて、つと引き込まれた夢の中で、佐知子は男と交構つた。ベッドの下方にある部屋のドアが開くのが判つたが音は伝わらない。暗いぶよぶよした大きな騒りが足元から近づいて来て、佐知子の上に被さつた。声を立てようとしたが果せなかつた。佐知子の瘦せた腕の肉付きをその男はすっぽりと抱いた。強烈な腋臭の匂いがある。しばらく忘れていたあの、身内にたぎつて渦巻いてくるくるめきの感覚を佐知子は取り戻していた。関節がはずれ、ばらばらに分解した体が宙に浮き上つた。熱い煌めきが眼球の底を一筋彩つて走り抜けてゆく。佐知子は呻き声をあげた。男は佐知子から体を離すと、音もなく遠のいて消えた。

時間が認識できない。立ちこめた闇の重く濃い淀みか

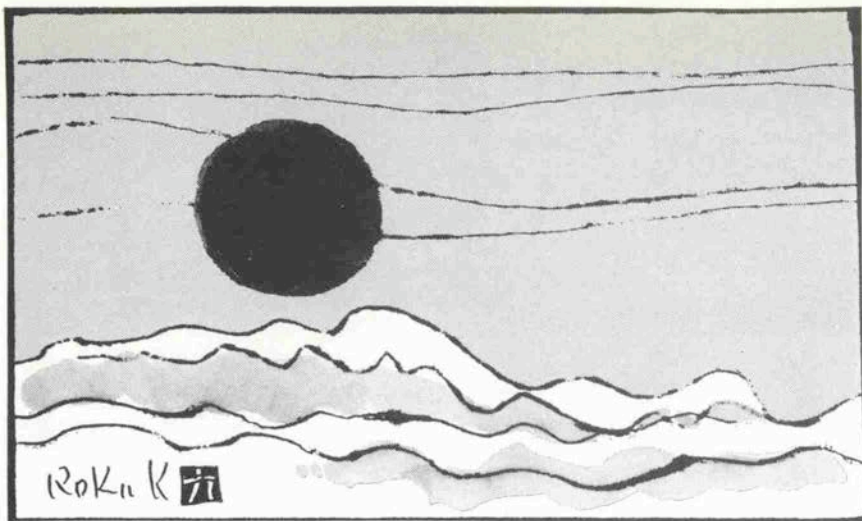
ら推して、真夜中だということが次第に判つてきた。ベッドの傍らを手で触つてみた。男の残していった温もりがありそうに思える。男の顔は思い出せない。どうしても駄目だった。ただ、あの男が泣いていたのだけはよく覚えていた。目鼻などはじめから無かつたのかもしれない。それにしても男の實在感があり過ぎた。男と交構つたあとの手触りがはつきり残っている。腋臭の生温かい匂いがシャツにまだ立ちこめている。要にはない匂いだった。あんな恥しい夢を見てしまったのは、自分の体がそろそろ人並みに快復しかけてきた兆しなのかしらと佐知子は顔を赤らめながらそう思つた。

風が頭上で渦巻いている。海の彼方から松林を越えて丘陵地帯に吹き上げてくる風の勢は普段から激しかったが、今夜は特に荒んで聞こえる。春に台風でもあるまいと思つても、瓦が歯ぎしりの音を立てて軋んでいるのが判る。螺旋状に身もだえた風が唸りを立てて屋根の上を吹き抜けたあとから、次つぎと形相を変えて風の軍団が押し寄せてくる。庭木のざわめきに重なつて雨の音も聞こえる。鶏のかまびすしい哭声が雨音に交錯して耳に入つた。とうとう三百羽にも増えてしまった巨大な鶏群は、雨風の烈しい夜分ともなると殊更に喚ぎ立てる習性を持っている。ベッドに押し入つて来た男の頭部に赤黒い色をしたとさがあつた。そんな妄想がじわじわと闇を這い上つてきて、佐知子は慌てて枕元の明りをひねつた。少し落着いてくると今度は、現実の不安が募つてくる。要は計算があつてふみ代の手紙の束を抽き出しに投げ入れたのではないだろうか。ぞんざいに女の手紙を扱っているように見せかけて、ふみ代とは何でもないことを佐知子に判らせようとしたのではないか。疑い出すときりがなかつた。五日間の出張は長すぎる。ゼミだとか研究会だとか要は言っていたが、案外、ふみ代と遠出したのかもしれない。ふみ代を連れて行くくらいなら聴子と行つてくれる方が自尊心を傷つけられなくて済む。こおつと風が唸つた。そのまま目が冴えてしまつて、とう

とう一睡もできなかったが、明け方近くなつて、やっと眠りに引き込まれた。

時計が九つ鳴って、気が付いた。雨風がますます烈しくなっている。夢から醒めぎわの虚ろな視線を白じろと明るんだ宙に這わせていると、ずうん、と電話の呼び鈴が鳴る。冬太郎だろうか。すぐにベッドを脱け出た。

「奥さま」



120K 六

ふくだ。いきなり、わっと泣き声を上げた。大変です。と言う。ほんとに大変なんです、奥さま。とふくは大声を上げた。受話器に口をびったり押し当てているのだらう。調子はずれの興奮しきった声がきんきんひびいた。「冬太郎さまが居なくなつたんです。出て行ってしまわれたんです」

まさか。と佐知子はふくの言葉をはねのけた。冬太郎は、左半身不自由な病人なのだ、出て行けるはずがない。廟へ行くのもやつとである。ごく気分の良い日には縁側まで出て陽向に体を晒したり、そろそろと歩いて郵便受けを見に行ったりするくらいは何とかできた。その程度の動きしかできない。

「ほんとうなんです、奥さま、まじめに聞いて下さい」受話器にすがりついて、ふくは訴えている。おびえた声だ。

「ちゃんと洋服も着更えて、それも一張羅の、そら、あの茶色のコール天の、一番お気に入りだよそ行きを着て、私が寝入っている間にどっか行っちゃったんですよ。そうにちがいません」

「探してみたの？」

「そりゃあもう。あっちこっち探し廻って、どうしても見つからないから、近所の人にも頼んで、なんせこのどしや降りでしょ」

「どうして早く知らせてこないのよ」

「すみません。まさかこんなことになるなんて」

声が泣き崩れた。やつぱりふくはゆうべ冬太郎に、山の中の老人ホームの話を持ち出したのだと思いつた、佐知子は暗澹となった。行ってみないわけにはゆかない。すぐに車を手配しなければ。動悸が打った。いやな予感がする。落着いて、落着かなければ。電話をかけて車を頼むと、この嵐で方々から口が掛かり、空車はないと言う。何とかお願いできませんかと食い下ると、四十分は待つて貰わないとダメですと男の声が突っけんどんにはね返ってきた。それがひどく情のない声に聞こえる。郊

外の辺鄙なこの町で営業しているタクシースの数は僅かしかなかった。身分不相応なほどの立派な車を持っているのに、要さえ居てくれたらと歯ぎしりするほど口惜しかった。当然この場に居させていいはずの要がこんな大事な時に限って居ないのはひどく意地の悪い仕打ちをされているように思える。あの要が今まで一度だって肝心な時に居てくれたためしかなかったのに思い当たると、いっそ口惜しさが溢れてきた。ふみ代がこちらに白い目を向けて嗤っている。四十分も家の中にじっと閉じ籠って待つて居られない気持だった。電車は動いているだろう、とにかく出てみよう。そうするしか手はなかった。

重いカーテンを開け、ブラインドをはずす。手が慄えている。目を真正面に見据えて、佐知子は、あつと息を呑んだ。海が消えていた。どす黒い雲の集団が視界のすべてを覆い隠し、風と繋って渦巻状に旋回していた。素早しい早さでちぎれ雲が一定の方向目指して飛んで行く。山も町並も煙も何も見えなかった。うす墨色ひといろに塗り潰された視野の届く限りに風が音を立てて荒れ狂っている。ガラス窓が風にたわんで、内側向けて反っていた。ゆうべ雨戸を締めずに中からブラインドだけ下して寝てしまっていた。横殴りの雨がガラスを洗い、雨滴がサッシュを水浸しにしている。今、外へ出ようものなら自分の痩せた骨格はひきちぎれるか傘ごと吹き飛ばかするだろう。この嵐の中をさ迷っている冬太郎の雨足に打たれた顔と、病み呆けて枯れ枝同然の肢体が浮かんだ。

若いころからお洒落な冬太郎は大事に持ち続けた一張羅のコール天のスーツを着てずぶ濡れになりながら嵐の道を歩いて行く。どこへも行かぬない道を、濡れた背に気に入りの上着を張りつかせたまま地霊のように過ぎ去って行った。たまらなかった。胸の奥がぎゅっと痛

んだ。涙が吹き上げてきた。それから、あつと声をあげた。冬太郎が顔をこちらへ向けた。頬に涙が光っている。夢で交憐った男も泣いていた。男の顔の輪郭が冬太郎の顔と重なった。夢中で佐知子はガラス窓を引き開けた。冬太郎が樹の下に立ってこの部屋を見上げている。そう思えたのだった。風が忽ち襲いかかると、佐知子の長い髪の毛を逆さまに吹き上げた。大粒の烈しい雨滴が雪崩れこんでくる。部屋の中へ闖入した風は壁の正面に吊した海の絵の額ぶちを震わし始めた。

ごおっと時折、けもの咆哮に似た声が海とおぼしい方角から上った。空も海も陸地も一枚の暗幕に変貌した視界の奥に二筋の帯状に流れて、僅かに海が在った。一瞬、てらつと、海面がうす気味わるい光り方をした。雲に横臥わる一匹の竜の背そっくりに、海づらが脂ぎった光を放射して、うねうねと身をくねらし始めた。それはまるで、暴風雨のために死んだ夥しい魚たちが海面に浮上して燐光を放って燃えているように思えた。一夜のうちに海は、魚たちの枢に変貌していた。(了)



小説を書く、ということとは「業」だと思っ
ています。それもプロ作家ならぬアマチ
ュアが小説を書くこととするのですから、当
然、自分の内部で、何のために書くのか、
どうして書くかとするのかといった素朴な
疑問が起ったりします。書くことはたえようもなく孤独な作業であり、独りぼっちで航海する心細さによく似ていますので、時には深い
虚無感に墮ち込むこともあります。小説は何かの役に立つのだろうか
と首を傾げることもあります。時代が複雑化するにつれ、にんげんの
心理の在り方も複雑怪奇になってきましたので「現代人」を書くこと
はますます難しくなります。現代人の内部にひそむものを振り出して
それを適確に造型化することとは大変な作業となるでしょう。私自身に
ついて言えば、小説を書くことは、自分の平凡な現実と日常性から飛
躍する時間を過したいがため、別にこれこれと言った目的はないの
ですが、考えて見ると、文学に目的があるのだろうかと思えてきます。
音楽が音楽自体のために在るように、文学は文学それ自体のために存
在するように思えます。小説は何の役にも立たぬからこ役立たぬの
だ、という信念を持っています。これからの可能な限り、小説を書き
続けたいと願っている次第です。

(菊池佐紀)

□第七回

神戸文学賞 神戸女流文学賞 作品募集

小誌は昭和51年に創刊15周年記念として神戸文学賞および神戸女流文学賞を創設いたしました。これを機に有為の新人に新しく道を開くとともに、西日本における文学活動の一層の発展のために微力を尽したいと願っております。過去の受賞作品は次の通りです。

- 。第一回神戸文学賞「島之内ブルース」(田藤新||尼崎市) 同女流文学賞「ベットの背景」(小倉弘子||大阪市)
- 。第二回神戸文学賞「姥捨て」(奥野忠昭||大阪府柏原市)「生活」(吉峰正人||神戸市)(この回の神戸女流文学賞は該当なしで、神戸文学賞を二作が受賞)
- 。第三回神戸文学賞「自由と正義の水たまり」(蒼竜||奈良市) 同女流文学賞「夢の消滅」(大原由紀子||高知市)
- 。第四回神戸文学賞「溶ける闇」(高木敏克||神戸市) 同女流文学賞「影と棲む」(山口佳子||伊丹市)
- 。第五回神戸文学賞「該当作なし」 同女流文学賞「痕跡」(久保田匡子||大阪市)
- 。第六回神戸文学賞「ガチャマン」(南禅満作||神戸市) 同女流文学賞「該当作なし」

ここに第七回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

△募集要項▽

- 一、神戸文学賞は男性作品、神戸女流文学賞は女性作品とし、共に西日本在住者で応募作品は一篇に限ります。
 - 一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。
 - 一、原稿枚数は四百字詰百枚前後。
 - 一、原稿には住所、本名、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品主題(創作主旨)をつけて下さい。
 - 一、締切りは八月十五日(当日消印有効)
- ☆なお、選考は小誌ならびに小誌が依頼した選考委員によって行います。
- 一、入選発表は本誌昭和五十八年新年号誌上で、同号より作品を掲載します。
 - 一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。
 - 一、入選作品の著作権は本誌に属します。
 - 一、入選作品各一篇には副賞として賞金二拾万円が贈られます。
 - 一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市中央区東町一―三の一大神ビル七階月刊神戸っ子「神戸文学賞係」まで。
- 電話〇七八―三三一―二二四六

主催／月刊神戸っ子